

バレーボールで前橋・高崎市民交流



二月十九日、高崎市の浜川体育館で家庭婦人バレーボール大会が開催されました。これは前橋・高崎連携スポーツ交流の一環で、両市から十二チームずつが出場。日ごろの練習成果を発揮して、熱戦を展開しました。さわやかな汗を流しながら、親ほくを深める良い機会に。

ま え ば し シテイ フラッシュ



うと思っ
してはな
ではない
が、これ
間や組合
さんの支
あつてこ

「五年前にもサンシユで大賞を受けましたが、今年は七十五点から八十点くらいの出来だと思っていました。就農して数年後から、二十七回ほど枝物や花苗を出品しているけれど、受賞を聞いたときには本当かなと思いましたが、いつも賞を取らうと思っ
ていないわけ
ではないです
が、これも仲
間や組合の皆
さんの支えが
あつてこそと

先月十一日まで開かれていた「第五十五回関東東海花の展覧会」にサンシユを出品し、枝物部門最高賞となる農林水産大臣賞に選ばれた。これは、十二都県の生産者が出品する国内最大級の展覧会。今年は五部門に二千点余りが出品された。

納得した出来ではなかった



関東東海花の展覧会で大臣賞
角田 創さん(47)
柏倉町

感謝しています」

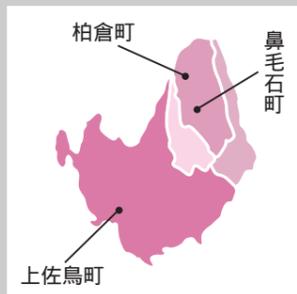
開催前日に会場で飾花。最終日に再び、賞を受けた自分の花を見るために出掛けたという。

「会場内が暖かく、会期中、きれいに咲いているよう調整するのには苦労しますね。自分ではまだまだと思っ
ていますが、こ
こ二、三年は枝物の市場価格も良くなってきているし、これからは受賞を契機にもっと力を入れていきたいと考えています」
父親が米麦・養蚕から養蜂や花き園芸へと経営の中心を転換した後、この道に入った。

「農家でありながら、食糧を作った経験がないんです。昔の農家は何でも自分たちで作っていました。自給自足とはいわなければ、地域で協力し合っ
て、環境に優しい循環型の農業経営を目指していきたいです」と、大きな夢を語った。

ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所市政発信課 890-6642へ。



節目の「市民展」盛大に



2月10日から27日まで、市民展を市民文化会館で開催。今年は40回の節目を記念し、最高賞に「40回記念賞」を設けました。美術・写真・書道の3部門に応募があった1,795点のうち、入賞・入選作品を部門ごとに展示。20日まで行われた写真展には多くの人が訪れ、ずらりと並んだ力作に見入っていました。

史跡見学し歴史を学ぶ



ふれあい体験教室が二月十八日、小中学生と保護者を対象に行われました。ふるさとの歴史と文化を学ぶことが目的。総社資料館や近くの史跡を講師の解説を聞きながら見学し、石室に入ったり、石棺に触れたりして、興味深そうにっていました。

頭と体つくる 食習慣学ぶ

上川淵地区

上佐鳥町公民館で二月十九日「正しい食習慣は」と題した講演会を開催。同町では、本年度から高齢者地域交流事業としてほかにもんど焼きや豆まき、施設見学などを行っています。五十人が参加し、子どもや老人のしなやかな脳と体力作りについて学びました。講師の体験を踏まえた話に、うなずきながら



宮城地区

バレンタインを 手作りチョコで

まちの ニュース

二月十一日、鼻毛石町の宮城公民館でチョコレート作り教室が行われました。バレンタインデーに向けて自分だけのチョコレートを作ろうと、親子ら二十一人が参加しました。お父さんや好きな人などに喜んでもらいたいという気持ちを含めて、先生に教わりながら、ハートの形など三種類のチョコレート作り挑戦。教室の中には、だんだんと甘い香りが満ちて、市販のものも劣らないおいしそうな出来栄に、参加者はバレンタインデー当日が待ち遠しそうな様子でした。



同町の中沢徳夫自治会長は「この一年は交流事業の土台作り。今後は皆さんの意見を聞きながら、これらの行事を定着させていきたいと思います」と話していました。

市民の声を 予算に反映

皆さんには地域づくりのリーダーとして大変な尽力をいただきたい。本市は元気が出てきたと思いますし、市民の皆さんから多くの声も聞かせていただくようになりそうです。

県都である本市の新年度予算は、地区懇談会などの意見をしっかりと受け止め、それを大いに盛り込み、積極的なものとなりました。この予算を大いに生かして、「元気で楽しい前橋・生命都市いきいき前橋」に向かって前進していきたいと考えています。

